

超ウラン核種を含む放射性廃棄物
処理処分の基本的考え方について
(案)

平成11年11月30日

原子力委員会

原子力バックエンド対策専門部会

6. 地層処分の検討対象とした廃棄物について.....	10
(1) 地層処分の検討対象とした廃棄物の範囲.....	10
(2) 地層処分の検討対象とした廃棄物の放射性核種の種類及び濃度	10
(3) 地層処分の検討対象とした廃棄物の特徴.....	11
7. 地層処分の処分施設概念.....	11
(1) 処分施設概念の検討に当たっての考え方.....	11
(2) 廃棄体のグルーピングについて	11
(3) 人工バリアの基本構成について	12
(4) 処分施設について.....	13
8. 地層処分の安全性について.....	13
(1) 安全性の検討について.....	13
(2) 地下水移行シナリオにおいて考慮すべき現象について	14
(3) 地下水移行シナリオによる被ばく線量の試算結果について	15
9. まとめ	15
10. 技術開発課題について	17
第2章 α 核種濃度が一定の区分目安値を超える R I・研究所等廃棄物について	18
1. 研究所等廃棄物として発生するもの.....	18
2. R I 廃棄物として発生するもの.....	18
3. 処分の基本的考え方について	18
第3章 処分事業の責任分担の在り方、諸制度の整備などについて.....	20
1. 責任分担の在り方と実施体制	20
2. 処分費用の確保.....	20
3. 安全確保に係わる関係法令等の整備	20
4. 実施スケジュール	21
5. 技術開発課題への取組みについて	21
6. 積極的な情報公開、情報提供	21
終わりに.....	23

はじめに.....	1
第1章 超ウラン核種を含む放射性廃棄物処分に関する安全確保の考え方.....	3
1. 超ウラン核種を含む放射性廃棄物の発生の現状と将来の見通し.....	3
(1) JNCにおける発生の現状と見通し.....	3
(2) 海外からの返還について.....	3
(3) 民間施設における発生の見通し.....	3
(4) 廃棄物発生量試算について.....	3
2. 対象廃棄物の特徴.....	4
(1) 対象廃棄物の発生形態と処理について.....	4
(2) 対象廃棄物中の核種構成について.....	4
(3) 原子力施設から発生する低レベル放射性廃棄物との核種構成の比較について.....	5
(4) 対象廃棄物の核種濃度分布について.....	5
3. 対象廃棄物の処分方策の検討に当たっての考え方.....	5
(1) 放射性廃棄物処分の基本的考え方.....	5
(2) 我が国でこれまでに検討されてきた処分方法.....	5
(3) 対象廃棄物の処分方法の考え方.....	6
4. 既存の低レベル放射性廃棄物の処分方法での処分の可能性について.....	7
(1) 浅地中のコンクリートピットへの処分の可能性について.....	7
①浅地中のコンクリートピットへの処分について.....	7
②対象廃棄物への適用について.....	7
(2) 一般的であると考えられる地下利用に対して十分余裕を持った深度（例えば50 ～100m）への処分の可能性について.....	8
①処分の基本的考え方について.....	8
②対象廃棄物への適用について.....	8
5. 既存の低レベル放射性廃棄物の処分概念で処分ができないと考えられる対象廃棄物 の処分の基本的考え方.....	9
(1) 基本的考え方について.....	9
(2) 高レベル放射性廃棄物の地層処分との相違点について.....	9
(3) 海外との比較について.....	10